

あ、ここにも。

LECIP



レシップ株式会社

2006年3月期決算説明会

2006年5月22日

JASDAQ

【証券コード:7213】

目 次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2006年3月期決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2007年3月期業績見通し

会社概要

- 会社名：レシップ株式会社
- 代表者：代表取締役社長 杉本 眞
- 設立：1953年3月
- 所在地：岐阜県本巣市
- 事業内容：バス・鉄道・自動車用電装機器、
サイン&ディスプレイ関連機器、
産業機器の製造・販売
- 資本金：7億3,564万円(2006年3月現在)
- 従業員数：508名(連結正社員数 2006年3月現在)
- 連結子会社：レシップ電子株式会社
THAI LECIP CORPORATION LIMITED
LECIP U.S.A., INC.

社名の由来

当社の事業分野である

光 : Lighting

電力変換 : Electric power Conversion

情報処理 : Information Processing

それぞれの頭文字をつなぎ合わせて



LECIP

レシップ株式会社

3つのコア事業

輸送機器事業

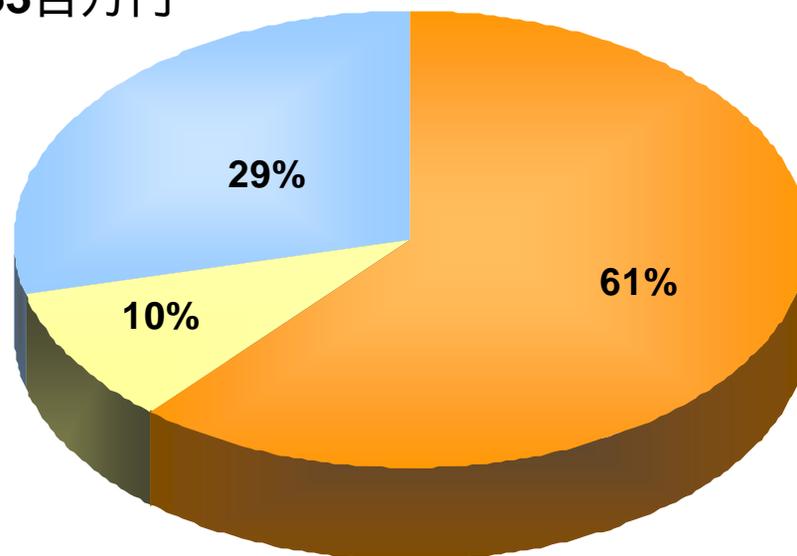
S&D (サイン&ディスプレイ) 事業

産業機器事業

2006年3月期 事業部門別売上高

連結売上高 17,233百万円

■ 輸送機器 ■ S&D ■ 産業機器



▶ 経営の基本理念

「省エネルギー」「地球環境対応」「セキュリティ強化」を通じて
快適な日常を実現するための製品・サービスを提供する。

▶ 経営の基本方針

輸送機器、S&D、産業機器の3つのコア事業により
収益基盤の安定化を図るとともに着実な成長をめざす。

目 次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. **2006年3月期決算概要**

4. 事業戦略の概要

5. **2007年3月期業績見通し**

輸送機器事業

- バス市場
- 鉄道市場
- 自動車市場



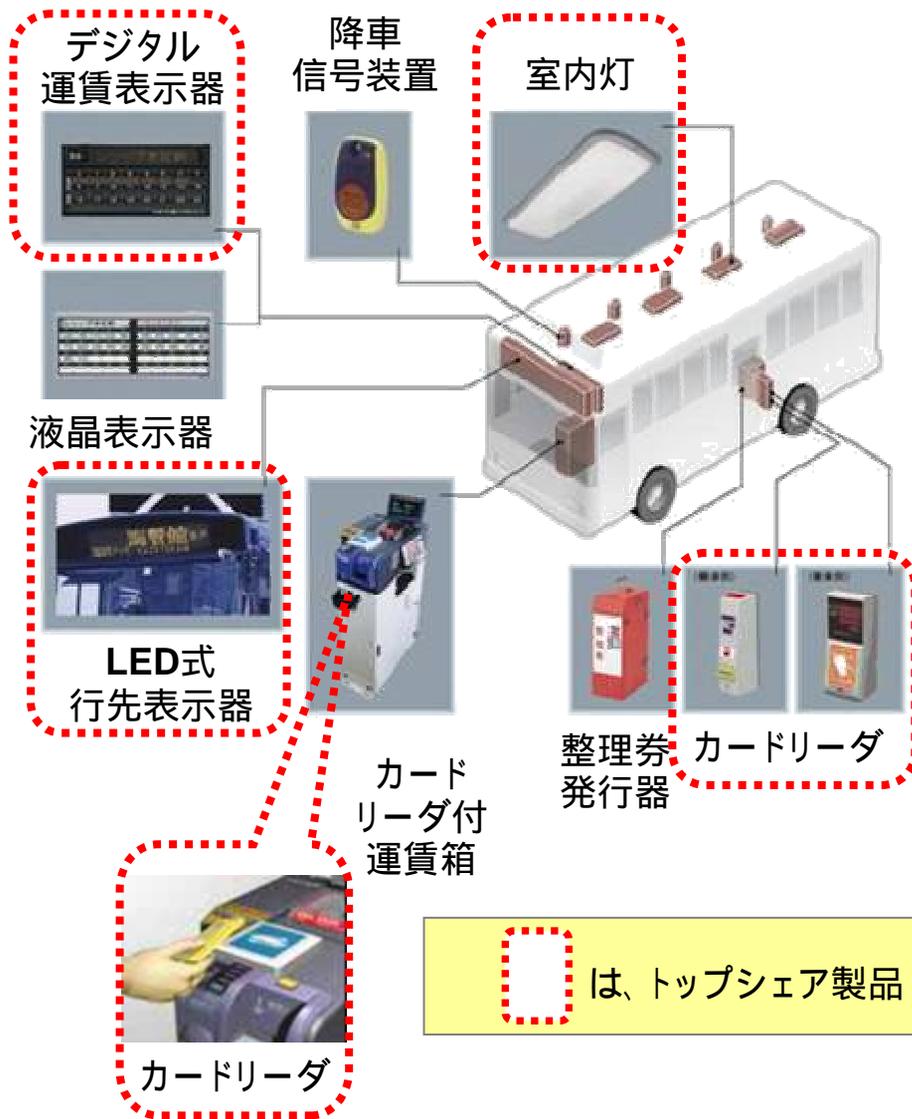
バス市場

国内唯一のバス用電装機器の
トータルサプライヤー

各機器のシステム連動化に強み
ワンストップソリューションの提供

バスカードシステム、LED式行先
表示器、デジタル運賃表示器、
室内灯で**トップシェア**を獲得

香港 Octopus Cards社へ
非接触ICカードリーダ・ライタを納入



は、トップシェア製品



鉄道市場

バス搭載機器の技術を応用した
鉄道市場向け製品群

ワンマン鉄道用システム機器、
車両用蛍光灯で**トップシェア**を獲得

国内で初めて、車内設置型非接触
ICカード運賃精算システムを製品化

振動、電圧変動、車内温度の変化、
メンテナンス性を考慮

ワンマン鉄道用
システム機器
(対面式運賃箱)



鉄道車両用蛍光灯



簡易型
券売機



車内設置型
ICカード運賃精算システム

駅改札用 非接触ICカード
リーダ・ライタ



自動車市場

自動車用蛍光灯具のパイオニア

メーカー純正向け蛍光灯、市販向け
蛍光灯で**トップシェア**を獲得

環境への対応、機能面充実(薄型化)
による差別化

環境への対応、機能面充実(薄型化)
による差別化

平面放電灯 (無水銀・無鉛ガラス仕様)
平面発光する無水銀の薄型光源を自社開発
ダイハツ様・「アトレワゴン」に採用

冷陰極放電灯 (無水銀)
ホンダ様・「エリシオン」、「ステップワゴン」に採用

車内照明用蛍光灯 (純正仕様)



トラック荷室用蛍光灯 (市販用)



平面放電灯



冷陰極放電灯



- ネオン変圧器
- 点滅調光コントローラ

ネオン変圧器

ネオン変圧器：

ネオンサインの点灯に必要な
高電圧を発生させるための小型変圧器

当社創業当初からの技術分野、
長年にわたり、ノウハウを蓄積

巻線式ネオン変圧器の
国内トップメーカー

タイ現地法人への全面的な生産移管
により、価格競争力を維持

OEM供給で高い評価を得ていた
米国市場へ自社ブランド・直販方式
で参入

巻線式
ネオン変圧器



電子式
ネオン変圧器



当社のネオン変圧器、点滅調光コントローラを
使用した大型ネオンサイン
(JR名古屋駅前、名古屋市 栄)

各種電源機器

無停電電源装置

バッテリー式フォークリフト用充電器

EMS事業

プリント基板実装

小型液晶パネル組立て

各種電源機器 / EMS事業

フォークリフト用充電器で**トップシェア**を獲得

国内主要フォークリフトメーカー全てに充電器を納入

EMS事業は、プリント基板の実装、小型液晶パネルの組立てを展開

手挿入によるものから、国内最速レベルのチップマウンターによる高密度実装基板まで、幅広い製品・顧客のニーズに対応

フォークリフト用充電器



無停電電源装置
(CATV基地局用)



レシップ電子(株)工場内
プリント基板実装ライン



事業の特徴と強み

技術開発先行型

ニッチな市場分野に特化

ニーズに対する柔軟な対応

豊富な製品ラインアップ



各事業分野でトップシェアを獲得

目 次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2006年3月期決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2007年3月期業績見通し

■ 売上高は、前期比5.4%増

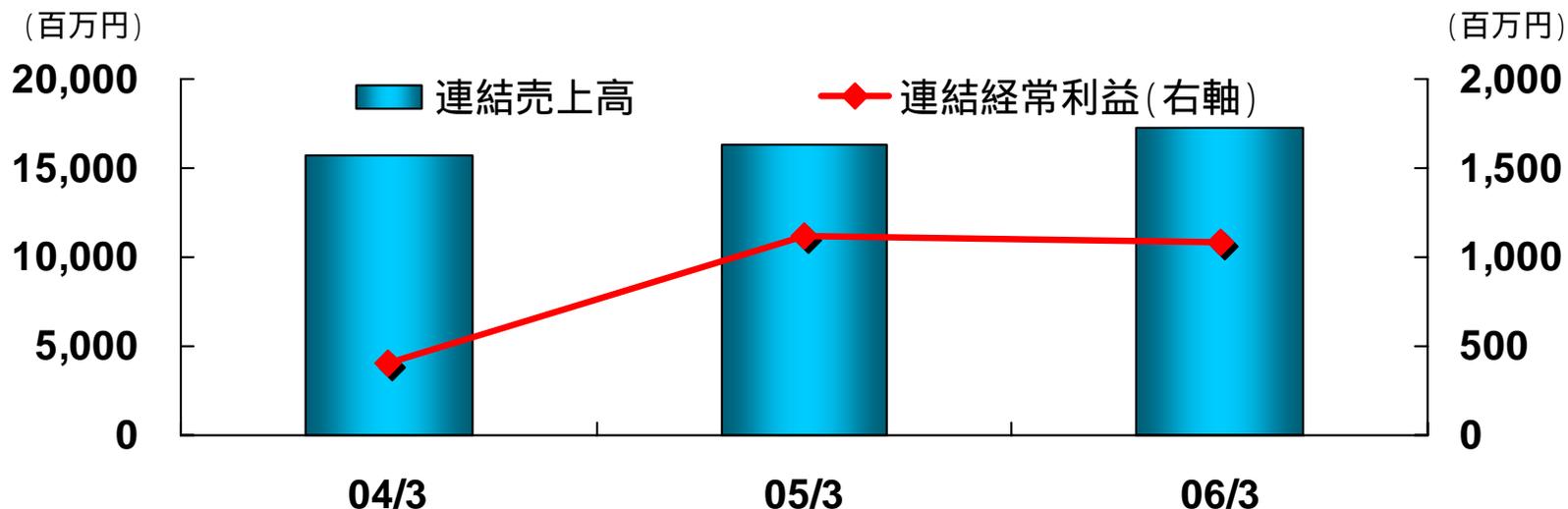
- 運賃箱等バス市場向け製品の販売が好調に推移
- 米国向けネオン変圧器の拡販
- バッテリー式フォークリフト用充電器の販売増も寄与

■ 営業利益、経常利益、当期純利益は、減益

- 新紙幣対応特需の一巡
- 原材料費の高騰
- 上場に係る費用の計上

連結決算ハイライト

	2005年3月期		2006年3月期				
	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画 (百万円) 06年2月修正	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 増減額 (百万円)	前期比 増減率 (%)
売上高	16,346	100.0	16,950	17,233	100.0	+887	+5.4
売上総利益	4,038	24.7	-	4,120	23.9	+82	+2.0
営業利益	1,122	6.9	-	1,089	6.3	33	3.0
経常利益	1,124	6.9	1,010	1,086	6.3	37	3.4
当期純利益	654	4.0	590	622	3.6	32	4.9



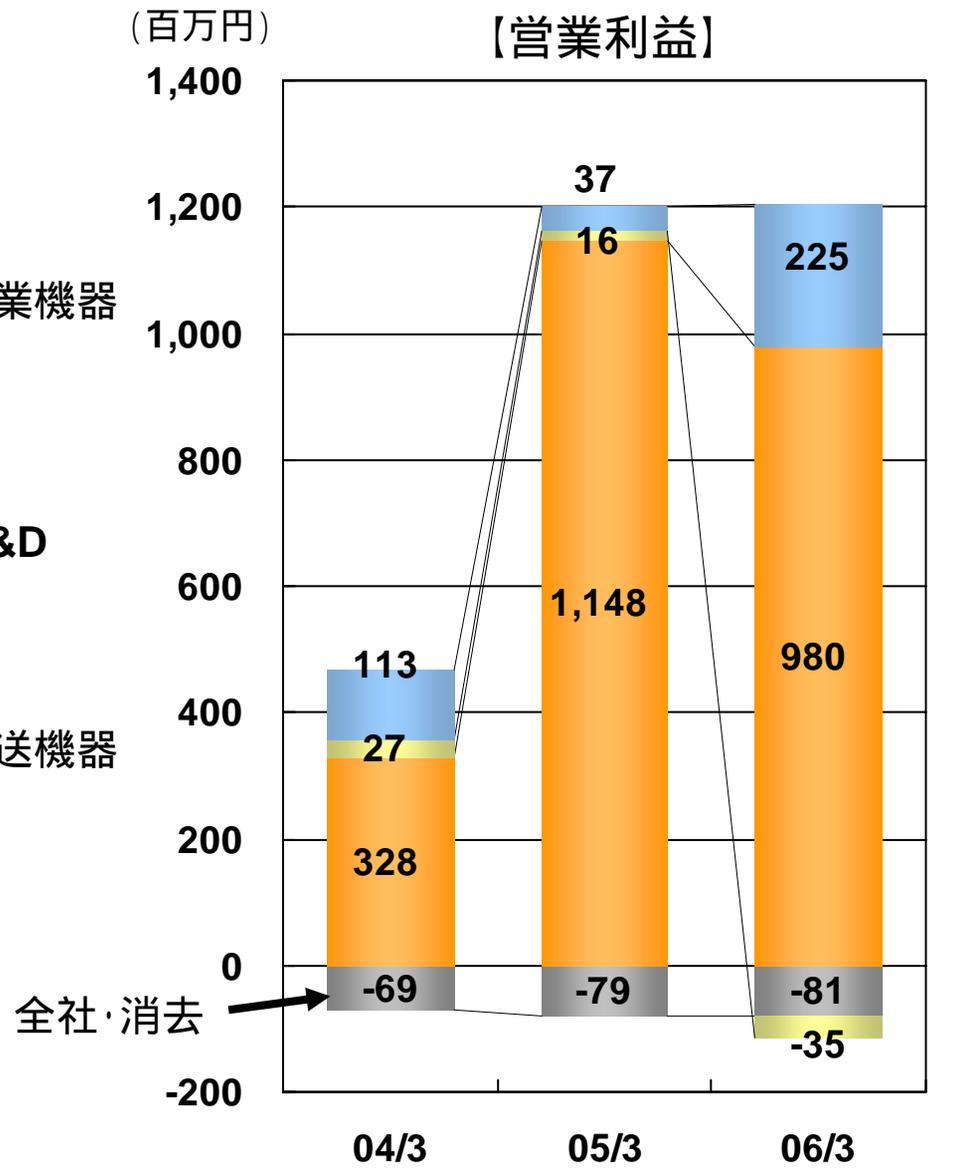
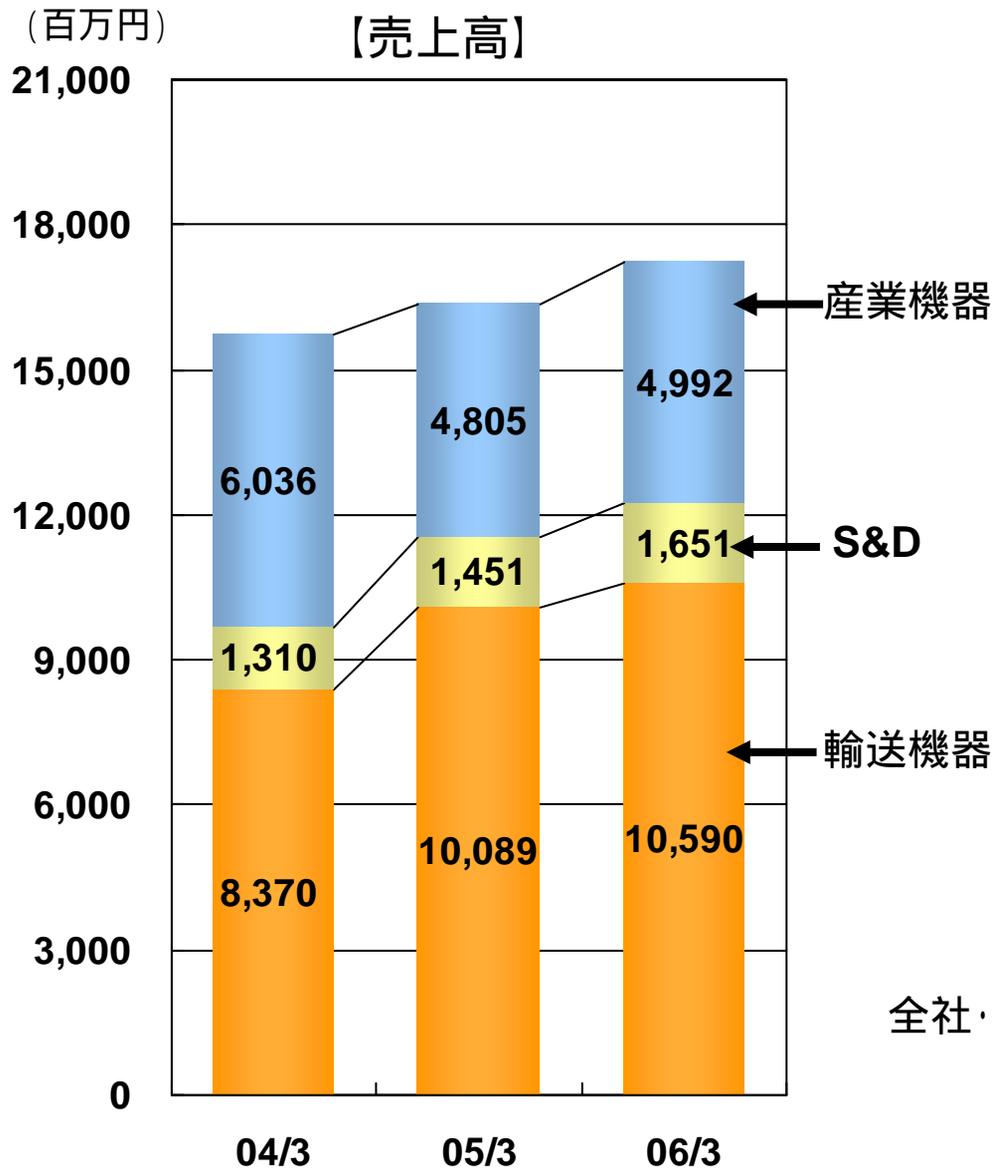
セグメント別売上高・営業利益

【売上高】	2005年3月期		2006年3月期			
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
輸送機器事業	10,089	61.7	10,590	61.4	+500	+5.0
S&D事業	1,451	8.9	1,651	9.6	+199	+13.7
産業機器事業	4,805	29.4	4,992	29.0	+186	+3.9
連結	16,346	100.0	17,233	100.0	+887	+5.4

【営業利益】	2005年3月期		2006年3月期			
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
輸送機器事業	1,148	95.5	980	83.7	168	14.6
S&D事業	16	1.3	35	3.0	51	-
産業機器事業	37	3.1	225	19.3	+188	+501.7
計	1,202	100.0	1,170	100.0	31	2.6
消去・全社	(79)	-	(81)	-	-	-
連結	1,122	-	1,089	-	33	3.0



セグメント別の収益状況



輸送機器事業

輸送機器事業

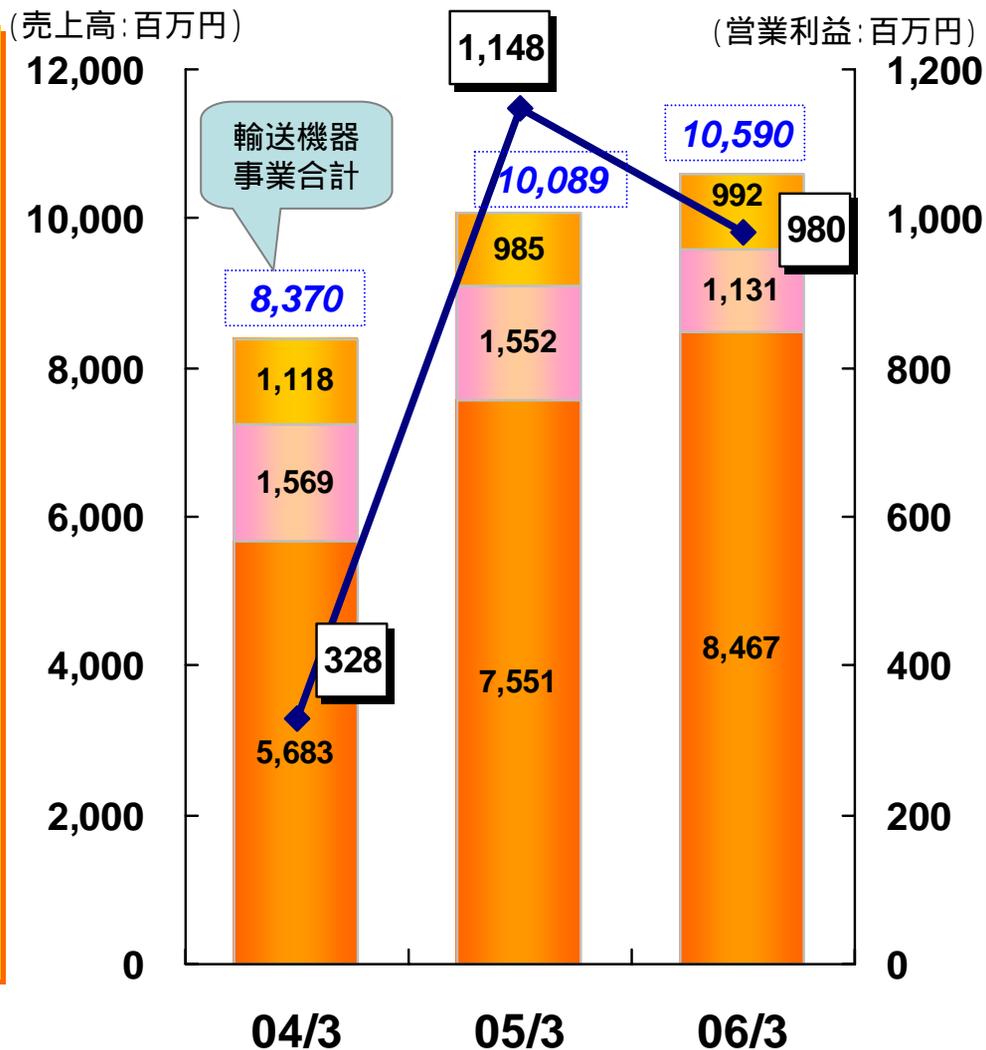
【増加要因】

バス市場向け製品の販売拡大
 運賃箱、シンガポール向けAVMS、
 営業所端末機器・ソフトウェア、
 LED式行先表示器等の伸長

【減少要因】

新紙幣対応特需の反動減

■ バス市場 ■ 鉄道市場 ■ 自動車市場



S&D事業

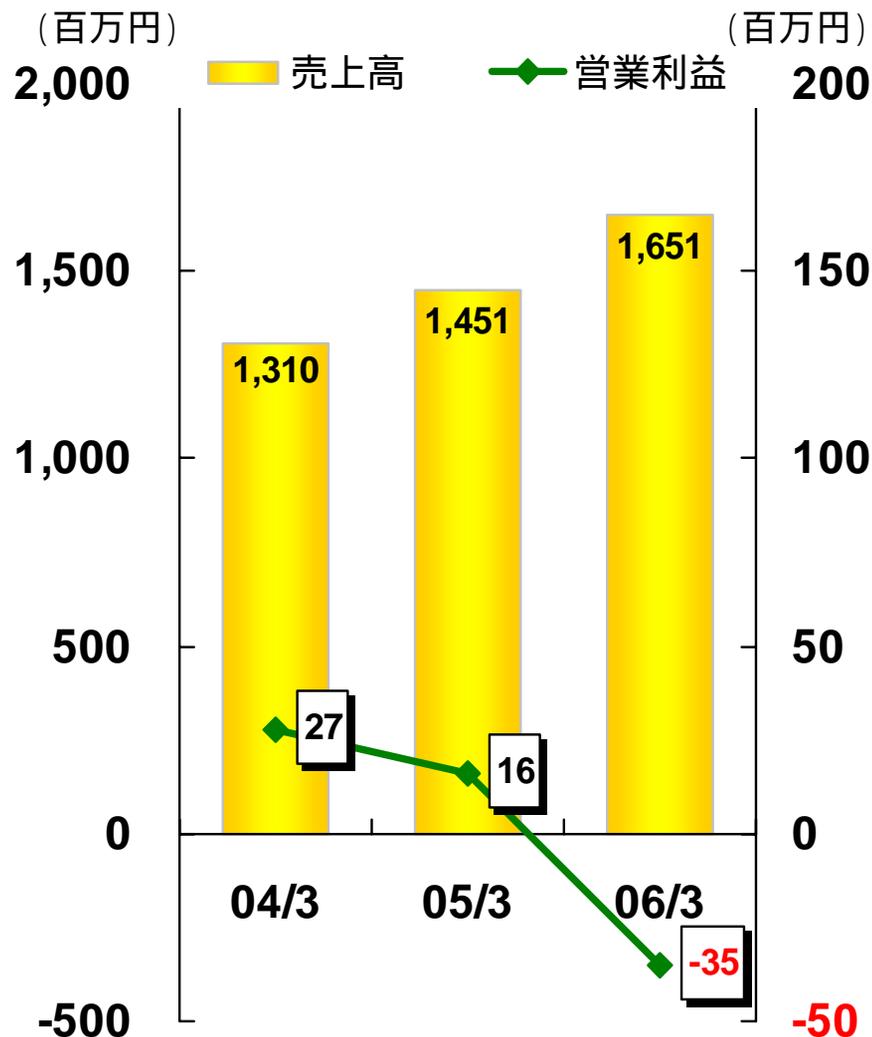
S&D事業

【増加要因】

米国市場向けネオン変圧器の拡販
電子式ネオン変圧器の販売拡大
屋外蛍光灯看板用電子安定器の
販売拡大

【減少要因】

原材料価格高騰等の影響



産業機器事業

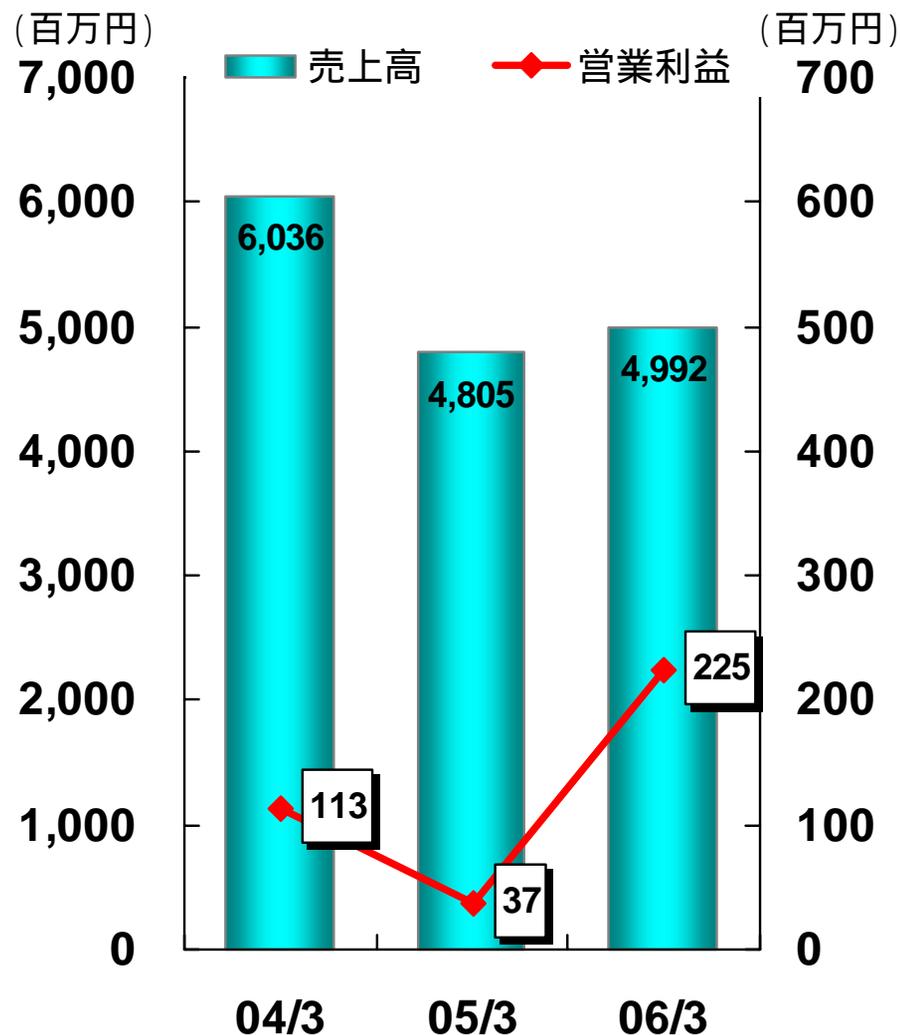
産業機器事業

【増加要因】

- バッテリー式フォークリフト用充電器の売上増加
- 無停電電源装置の売上増加
- 携帯電話用プリント基板の受注増加

【減少要因】

- 小型液晶パネル組立ての受注減少



連結損益の状況

	2005年3月期		2006年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	16,346	100.0	17,233	100.0	+887	
売上総利益	4,038	24.7	4,120	23.9	+82	
販売費及び 一般管理費	2,915	17.8	3,031	17.6	+115	・輸送コスト増加: +53百万円 ・上場関連費用: +35百万円
営業利益	1,122	6.9	1,089	6.3	33	
営業外収益	68	0.4	83	0.5	+15	・為替差益: +14百万円
営業外費用	66	0.4	86	0.5	+19	・新株発行費: +13百万円
経常利益	1,124	6.9	1,086	6.3	37	
特別利益	21	0.1	78	0.4	+57	・固定資産売却益: +41百万円
特別損失	25	0.1	24	0.1	1	
当期純利益	654	4.0	622	3.6	32	

連結貸借対照表の主な増減項目

	2005年3月期		2006年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	7,410	70.4	7,454	70.9	+43	
固定資産	3,118	29.6	3,057	29.1	60	
資産合計	10,529	100.0	10,512	100.0	16	
流動負債	5,988	56.9	5,512	52.4	475	・仕入債務: 566百万円 ・短期借入金・1年以内償還社債: 195百万円
固定負債	2,021	19.2	1,104	10.5	917	・社 債: 700百万円 ・長期借入金: 259百万円
負債合計	8,009	76.1	6,616	62.9	1,393	
資本合計	2,519	23.9	3,895	37.1	+1,376	・資本金:+347百万円 ・資本剰余金:+526百万円
負債・資本 合計	10,529	100.0	10,512	100.0	16	

単体決算概要

	2005年3月期		2006年3月期			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	13,244	100.0	14,174	100.0	+930	+7.0
売上総利益	3,639	27.5	3,666	25.9	+27	+0.8
営業利益	927	7.0	936	6.6	+9	+1.0
経常利益	969	7.3	1,003	7.1	+33	+3.5
当期純利益	574	4.3	650	4.6	+75	+13.1

総資産	9,858	100.0	9,941	100.0	+83	+0.8
資本合計	2,387	24.2	3,836	38.6	+1,448	+14.6

目 次

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2006年3月期決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2007年3月期業績見通し

事業別の戦略

事業環境

重点戦略

■ 輸送機器事業

- バス利用客の減少
- 利便性向上に向けた取り組み
- 交通系ICカードの拡大

- ◆ ICカード事業の強化・拡大
(物販等への多用途展開)
- ◆ OBC (On Bus Computer) の開発

■ S&D事業

- 国内ネオン塔広告市場の縮小
- LED、LCD表示が増加傾向
- 米国市場の販売堅調

- ◆ ネオン変圧器の海外市場への拡販
- ◆ 事業領域の拡大
(電子安定器、平面放電灯)

■ 産業機器事業

- 電子機器の小型化・高機能化

- ◆ EMS事業の強化・推進

持続的成長

ICカード事業の強化・拡大

◆ ICカードシステムの全国的な拡販

- **首都圏交通機関のICカード相互利用化プロジェクト**
(バス・鉄道事業者105社参加・2007年3月～)において、
バス部門システムの共通化ユニットを担当

- 全国的なICカードシステムの導入加速

これまでの開発・納入実績を活かし、
トップメーカーとして、強固な地位を築く

◆ ICカードシステムの多用途展開

- 香港への納入実績を活かし、交通系以外の用途を開拓

「**Suica**電子マネー」**物販端末**の
共同開発パートナーに選ばれる。



OBC (On Bus Computer) システムの拡販

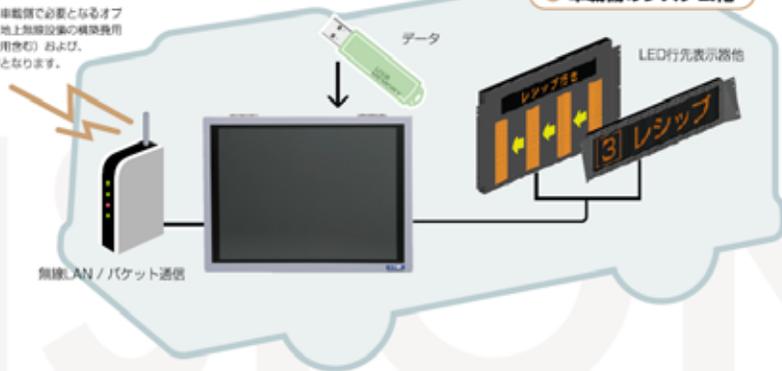
OBC (オン・バス・コンピュータ)とは・・・
 パソコンと同等の制御基板を内蔵した液晶表示装置
 OSにWindows®XP Embedded(XPe)を採用
 バス車内で、様々な表示サービスが可能
 内蔵されているパソコン機能を活かし、効率的なオペレーション

- 車載機器のデータを一括管理・集中制御
- 車外と車内の機器をオンライン化 リアルタイムでのデータ更新、ニュース配信
- 液晶表示器を使った動画広告 バス会社の広告収入
- OBCとの連動化によるメリットを活かした、各機器の拡販

● 地上とのネットワーク化

無線対応の場合、車載側で必要となるオプション費用の他、地上無線設備の構築費用(通信環境調査費用含む)および、通信費用等が必要となります。

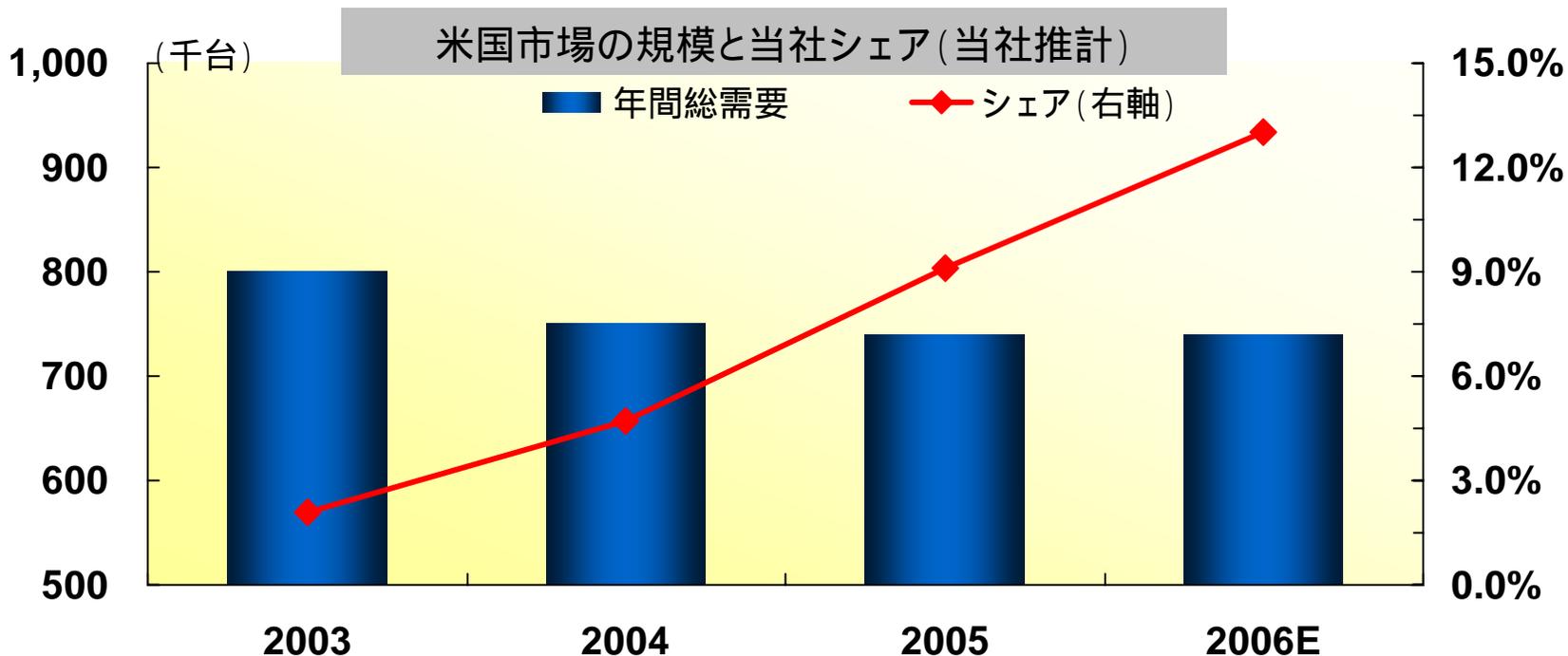
● 車載機のシステム化



S&D事業 (1)

ネオン変圧器の海外市場への拡販

- ◆ 米国におけるネオン変圧器のシェア拡大
 - OEM供給から直販方式に移行、“LECIPブランド”の確立
 - 全米販売網の構築とブランドの浸透による売上拡大



事業領域の拡大

◆ 屋外蛍光灯看板用電子安定器

【 蛍光灯に電子安定器を導入すると 】

従来の銅鉄型安定器に比べ、消費電力**20%~30%削減**

省エネルギー・環境対応

今後、成長が見込まれる**未開拓の新たな市場**

【 屋外用の電子安定器は 】

屋外の**厳しい使用環境に耐えうる開発技術**がポイント

長年のネオン変圧器の開発技術を活かし、
屋外用電子安定器を開発。

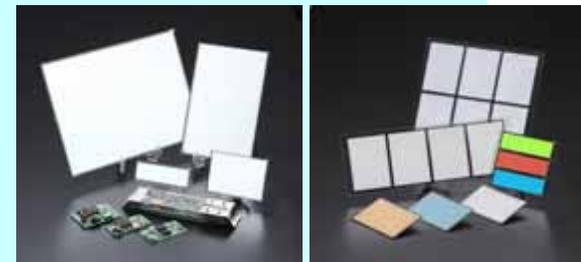
すでに、自動車ディーラーへの採用が決定

今後、コンビニチェーンなどへも提案継続



◆ 平面放電灯の多用途展開

- ・平面放電灯は、当社が自社開発した薄型光源
- ・従来のA6サイズに加え、大型のA3サイズを開発
- ・自動車用照明機器用途に加え、サインやディスプレイ用途など新たな市場を開拓



EMS事業の強化・推進

最新鋭チップマウンターへの投資継続により、競争力を維持・強化
(品質、生産性、顧客ニーズへの対応)

環境に配慮した「鉛フリー半田」の実装ラインを拡充

さらなる顧客基盤の拡大・取引の深耕



2007年3月期業績見通し

1. 会社概要

2. 事業内容

3. 2006年3月期決算概要

4. 事業戦略の概要

5. 2007年3月期業績見通し

連結業績見通し

	2006年3月期 実績		2007年3月期 計画			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	17,233	100.0	16,300	100.0	933	5.4
売上総利益	4,120	23.9	4,370	26.8	+249	+6.1
営業利益	1,089	6.3	1,210	7.4	+120	+11.1
経常利益	1,086	6.3	1,200	7.4	+113	+10.4
当期純利益	622	3.6	720	4.4	+97	+15.6
E P S (円)	96円29銭		112円63銭		+16円34銭	+17.0

単体業績見通し

	2006年3月期 実績		2007年3月期 計画			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	14,174	100.0	14,000	100.0	174	1.2
売上総利益	3,666	25.9	3,830	27.4	+163	+4.4
営業利益	936	6.6	975	7.0	+38	+4.1
経常利益	1,003	7.1	1,050	7.5	+46	+4.7
当期純利益	650	4.6	630	4.5	20	3.1
E P S (円)	100円99銭	-	98円55銭	-	2円44銭	2.4

配当方針

- 安定配当の維持・継続
- 配当性向は、内部留保とのバランスを図りながら、今後、**20%**を目標に高めていく

2006年3月期 配当予想	2007年3月期 配当予想
12円50銭	12円50銭
普通配当：10円00銭 記念配当：2円50銭	前期の記念配当2円50銭を 普通配当に組み込む。

LECIP

レシップ株式会社

【将来予測について】

本資料のうち業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。